

【資料－２】

多面的機能支払制度の平成 26 年度実施状況について

1 農地維持支払

- ① 制度開始初年度である平成 26 年度は、取組面積約 6 万 4 千 ha で 810 組織が活動を実施。
- ② 平成 25 年度の農地・水保全管理支払に比べ取組面積は約 2 万 1 千 ha 増（1.5 倍）、活動組織数は 451 組織増（2.3 倍）。
- ③ 農振農用地面積に占める取組面積の割合（カバー率）は 40%。これは、東北 6 県の平均値 45%を下回っている。

地目別では、水田は 65%（東北平均 60%）だが、畑・草地は 8%（東北平均 10%）と低調。

地域別では、県南地域の 55%対し、県北・沿岸地域では 10%と低調。

【市町村数、活動組織数、取組面積、カバー率】

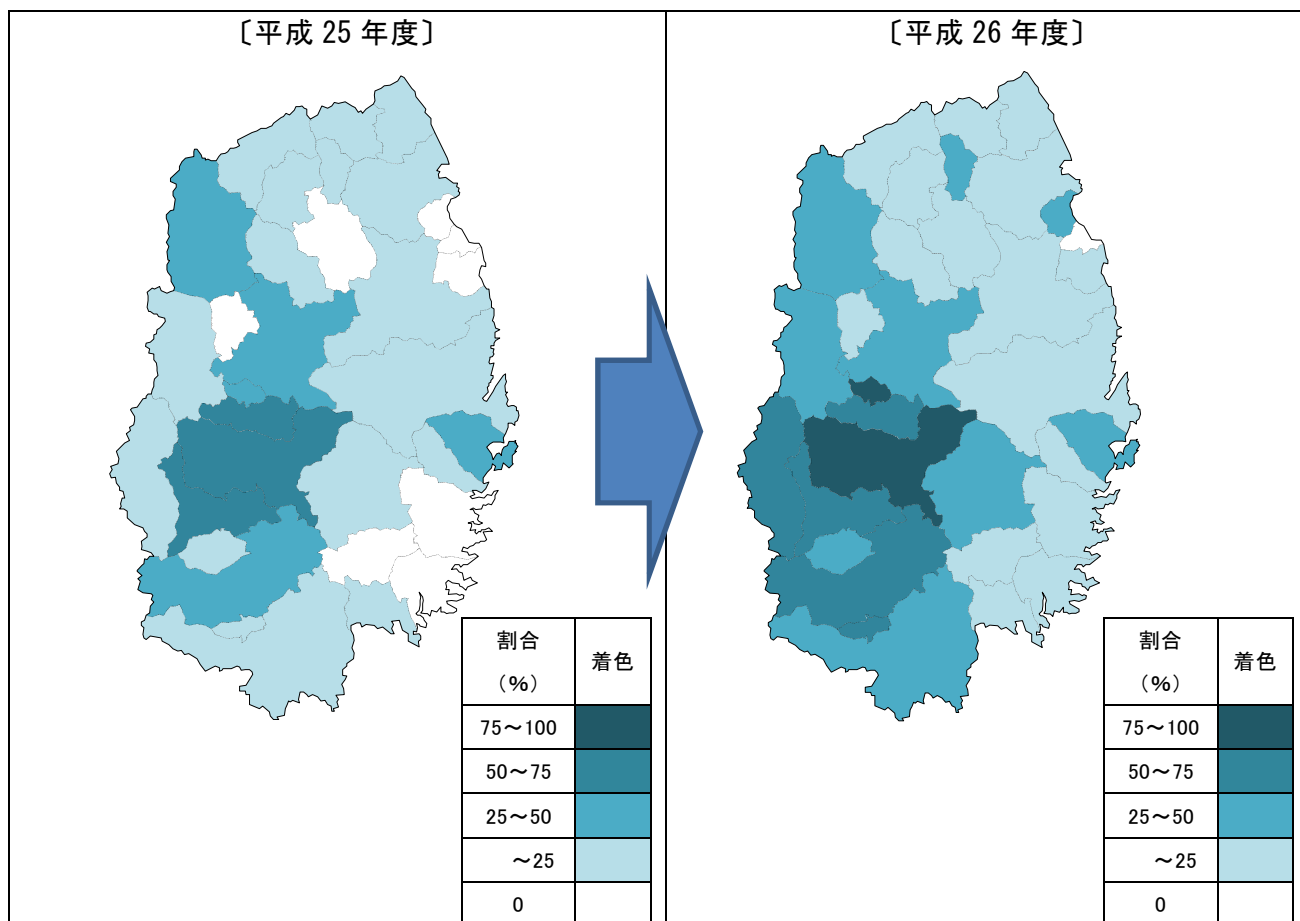
	農地・水保全管理支払 （共同活動支援） H25 年度実績	多面的機能支払 （農地維持支払） H26 年度実績	増減	対 H25 年度
市町村数	25	32	7	1.3 倍
対象組織数	359	810	451	2.3 倍
広域活動組織	37	46	9	1.2 倍
取組面積（ha）	43,220	63,827	20,607	1.5 倍
水田	38,986	58,117	19,131	1.5 倍
畑・草地	4,234	5,710	1,476	1.4 倍
カバー率（%）	27	40	13	1.5 倍
水田	44	65	21	1.5 倍
畑・草地	6	8	2	1.3 倍

【東北 6 県の H26 年度取組面及び農振農用地カバー率】

県名	計		田		畑		草地	
	取組面積 （ha）	カバー 率	取組面積 （ha）	カバー 率	取組面積 （ha）	カバー 率	取組面積 （ha）	カバー 率
青森県	39,526	27%	34,863	44%	4,176	9%	487	2%
岩手県	63,827	40%	58,117	65%	4,623	14%	1,087	3%
宮城県	57,941	49%	56,986	58%	925	8%	30	0%
秋田県	87,382	59%	86,178	69%	1,204	8%	0	0%
山形県	78,719	65%	73,250	77%	5,352	22%	117	5%
福島県	45,202	32%	37,525	39%	7,527	20%	150	1%
東北計	372,597	45%	346,918	60%	23,807	14%	1,872	2%

※ 各県から聞き取りしてまとめたもの。

【市町村別カバー率】



【広域振興局管内別実績】

広域 振興局	H26 取組面積 (ha)			H26 カバー率		
		田	畑・草地		田	畑・草地
盛岡	16,173	13,820	2,353	38%	62%	11%
県南	44,078	41,765	2,313	55%	72%	11%
沿岸	681	633	48	4%	21%	0%
県北	2,895	1,899	996	14%	35%	6%
計	63,827	58,117	5,710	40%	65%	8%

2 資源向上支払

(1) 資源向上支払（共同活動）

- ① 資源向上支払（共同活動）については、約 5 万 6 千 ha で 642 組織が実施している。
- ② 平成 25 年度の農地・水保全管理支払に比べ取組面積は約 1 万 3 千 ha 増、活動組織数は 283 組織増となっている。
- ③ 農振農用地面積に占める取組面積の割合（カバー率）は 35%。これは、東北 6 県の平均値 38% を下回っている。

【市町村数、活動組織数、取組面積、カバー率】

	農地・水保全管理支払 （共同活動支援） H25 年度実績	多面的機能支払 （資源向上支払（共同）） H26 年度実績	増減	対 H25 年度
市町村数	25	26	1	1.0 倍
対象組織数	359	642	283	1.8 倍
広域活動組織	37	43	6	1.2 倍
取組面積（ha）	43,220	56,415	13,195	1.3 倍
水田	38,986	51,260	12,274	1.3 倍
畑・草地	4,234	5,155	921	1.2 倍
カバー率（ha）	27	35	8	1.3 倍
水田	44	58	14	1.3 倍
畑・草地	6	7	1	1.2 倍

(2) 資源向上支払（長寿命化活動）

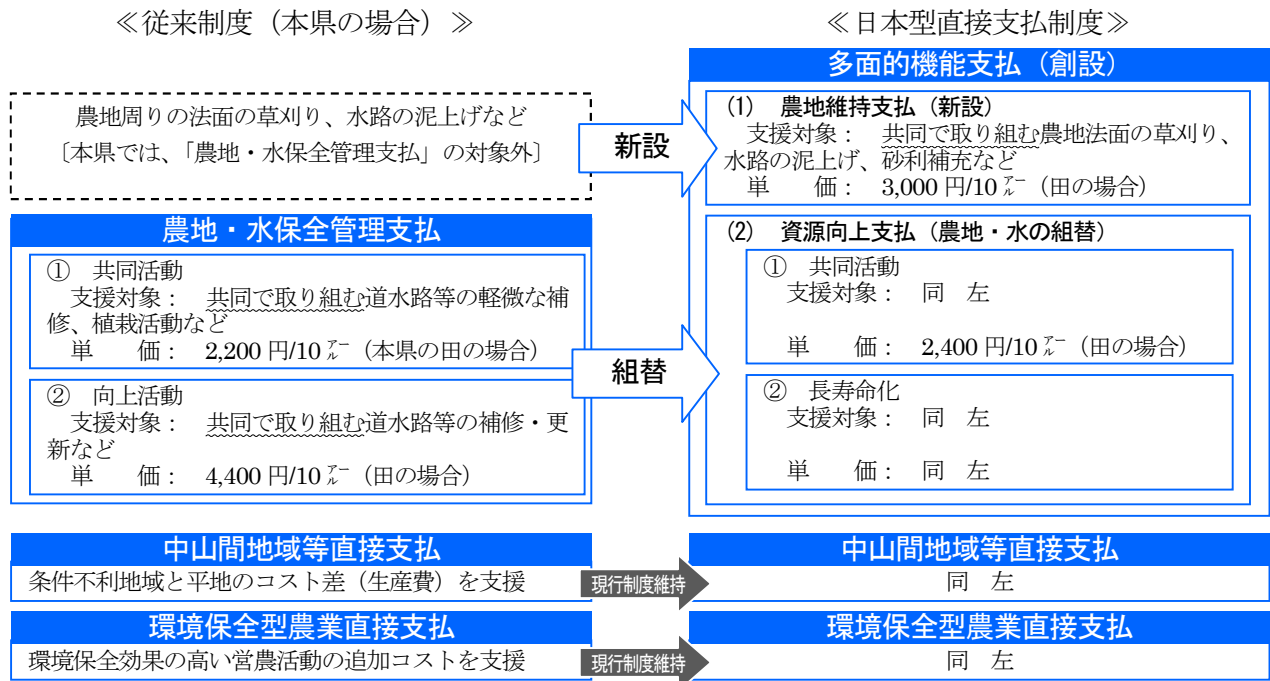
- ① 資源向上支払（長寿命化）については、約 4 万 5 千 ha で 533 組織が実施している。
- ② 平成 25 年度の農地・水保全管理支払（復旧活動支援）に比べ取組面積は約 1 万 4 千 ha 増、活動組織数は 108 組織増となっている。
- ③ 農振農用地面積に占める取組面積の割合（カバー率）は 26%。これは、東北 6 県の平均値 11% を上回っている。
- ④ 平成 26 年度に長寿命化を行った水路は約 73km、農道は約 3km、ため池 8 か所となっている。

【市町村数、活動組織数、取組面積】

	農地・水保全管理支払 （復旧活動支援） H25 年度実績	多面的機能支払 （長寿命化） H26 年度実績※	増減	対 H25 年度
市町村数	23	19	▲4	0.8 倍
対象組織数	425	533	108	1.3 倍
広域活動組織	29	34	5	1.2 倍
取組面積（ha）	30,992	45,329	14,337	1.5 倍
水田	28,949	41,831	12,885	1.4 倍
畑・草地	2,043	3,498	1,455	1.7 倍

※ 一部、農地・水保全管理支払（復旧活動支援）を実施している活動組織がある。

【参考 1】日本型直接支払制度の概要



「日本型直接支払制度の変遷」

平成 12 年 4 月 中山間地域等直接支払制度の創設

（中山間地域などの条件不利地域における農業生産活動の継続的な実施を支援）

平成 19 年 4 月 農地・水・環境保全向上対策の創設

（農用地や水路、農道の保全管理等に係る地域ぐるみの共同活動と、環境保全に向けた先進的な営農活動を支援）

平成 23 年 4 月 環境保全型農業直接支払制度の創設

（農地・水・環境保全向上対策から、先進的な営農活動が独立・移行）

平成 26 年 4 月 日本型直接支払制度の創設

- ・ 農地・水保全管理支払を拡充した多面的機能支払と、中山間地域等直接支払及び環境保全型農業直接支払（共に現行制度を継続）で構成。
- ・ 多面的機能支払には、農地維持支払を追加。

平成 26 年 6 月 「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」が成立

- ・ 日本型直接支払制度が、法律に基づく安定的な制度に。（これまでは、5年間の対策として要綱・要領に基づき実施され、5年ごとに制度の見直しがなされてきた）
- ・ 地域で、各支払制度を一体とした計画を策定し、効率的・効果的な活動に取り組むことが可能。
- ・ これまで、各支払制度で異なっていた交付ルートが、国→県→市町村→実施主体（活動組織・集落・農業者）に一本化。

平成 27 年 4 月 同法施行

対象活動

農地維持支払

交付単価例：3,000円/10a（都府県・田）

①次の①及び②の双方に取り組む場合が支援対象です。

①地域資源の基礎的保全活動

点検・計画策定、実践活動は、協定に位置づけた農用地、施設について毎年度実施（一部、点検結果に基づき実施の必要性を判断）

〔主な活動例〕

点検・計画策定



施設点検

年度活動計画
の策定

実践活動



農地法面の草刈り



水路の泥上げ

研修



組織運営に関する研修



ため池の草刈り



農道の砂利補充

②地域資源の適切な保全管理のための推進活動



これからの農地、水路、農道などの保全管理について、みんなで考えて体制を強化していこう！

- ・構造変化に対応した体制の拡充・強化
 - ・保全管理構想の作成
- 等

資源向上支払

(1) 地域資源の質的向上を図る共同活動

交付単価例：2,400円/10a（都府県・田）

（農地維持支払と合わせた場合 5,400円/10a（都府県・田））

- ・施設の軽微な補修は、協定に位置付けた全ての施設等について必要な取組を毎年**度実施**（機能診断結果に基づき実施の必要性を判断）
- ・農村環境保全活動は、**取り組むテーマを1以上定めた上で、そのテーマの計画策定、啓発・普及及び実践活動をそれぞれ実施**
- ・多面的機能の増進を図る活動は、**防災・減災力の強化や農村環境保全活動の幅広い展開**（高度な保全活動又は2テーマ以上の農村環境保全活動を実施）等を実施

[主な活動例]

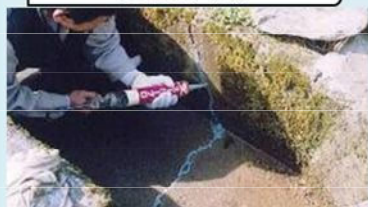
①施設の軽微な補修

機能診断



施設の機能診断

実践活動



水路のひび割れ補修

②農村環境保全活動

啓発・普及



生き物調査による啓発

実践活動



植栽活動

③多面的機能の増進を図る活動

防災・減災力の強化



田んぼダム（田んぼに降った雨を、排水口を絞り、ゆっくり排水。一時的に水を貯め、洪水被害を軽減）

農村環境保全活動の幅広い展開



水田魚道の設置

（注）上記③の活動に直ちに取り組めない地区については、交付単価の5/6を乗じた交付金を受けて①及び②の活動に取り組むことも可能

(2) 施設の長寿命化のための活動

交付単価例：4,400円/10a（都府県・田）

（農地維持支払および資源向上支払すべて合わせた場合 9,200円/10a（都府県・田））

- ・農地周りの農業用排水路、農道などの施設の**長寿命化のための補修・更新等の活動を実施**

[主な活動例]



老朽化した水路壁のコーティング



未舗装の農道をアスファルトで舗装